

平泉文化セミナー第 57 回例会の開催について

平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を開催しております。今回は、平泉文化セミナー第 57 回例会として下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

なお、今回は zoom によるオンラインも同時開催いたします。オンライン形式の参加者は ryukaiu@iwate-u.ac.jp まで申し込んでください。後日、zoom ミーティング URL の一斉送信を致します。

平泉から出土した文字資料への解釈

岩手県文化スポーツ部

文化振興課 世界遺産課長

佐藤嘉広氏

要旨：柳之御所遺跡をはじめ、平泉町内の遺跡から文字資料が出土している。文字は折敷等の木製品や土器に墨書や刻書されたものが多い。同時代の記録や文書類に限られるなかで、出土文字資料は今後も増加が期待され、平泉を考えるうえで重要である。

出土文字資料についてはこれまでもさまざまな研究があるが、今回のセミナーでは、特に (1) 「人々給絹日記」と (2) 出土文字資料の性格に焦点を当て、平泉の「場」について解釈を試みたい。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】

- ・対面形式での参加者は必ずマスクをご着用ください。
- ・会場入り口において検温及び手指の消毒を行います。体温が 37.5 度以上の場合は入場をお断りいたします。

令和 3 年 5 月 19 日 (水) 17:00～18:30

岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局

〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-33 019-621-6529 E-mail ryukaiu@iwate-u.ac.jp